

メタデザイン言語の手法を用いた プロダクトデザインの実証的な研究

- 形態・機能・構造・材料のテトラドから

Demonstrative Studies of Product Design by Meta-Linguistics Design Method

from the Tetrad of Form, Function, Structure, and Material

デザイン学科・准教授

Department of Design • Associate Professor

黄 崇彬 Robin HUANG

1 一枚の板から出来た棚

棚である。

簡単で、シンプルな、本棚とCD棚だ。

最小限の構造で、機能する単純である。

形態の美しさ。

機能の美しさ。

構造の美しさ。

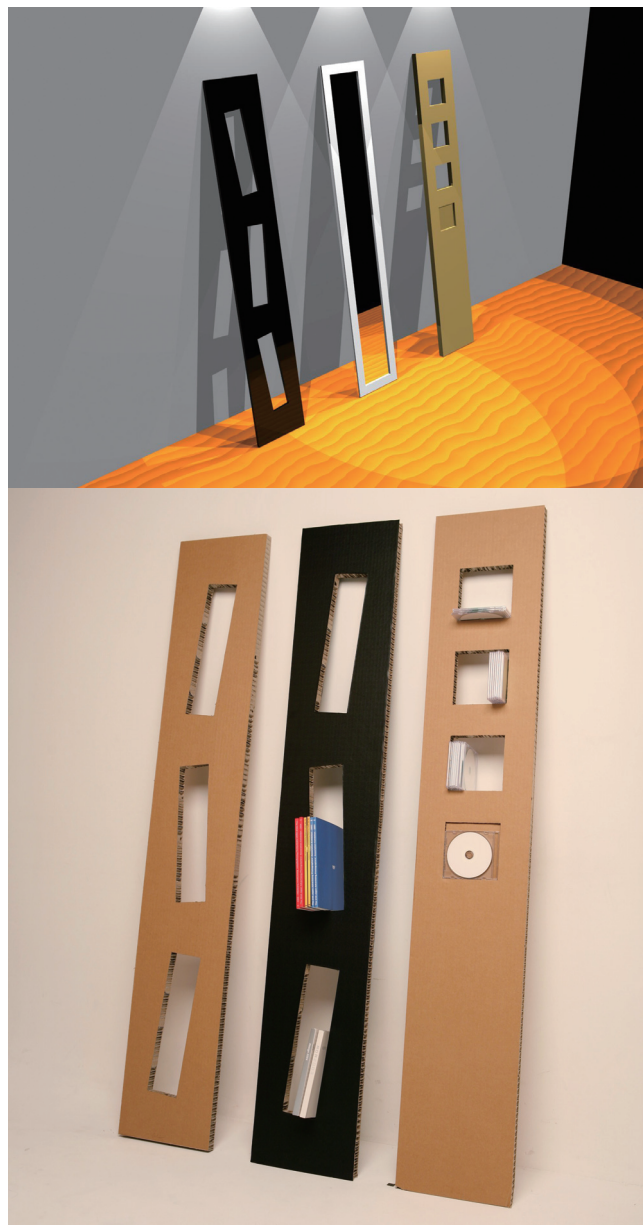
そして、材料の美しさ。

これらは、デザインのテトラドという。

形態と構造、機能、三つのデザイン側面より

エコ素材の美しさを引き出した。

Less Is More, これだけだ。



2 ガードレールに座る人々

街によくある風景。
ガードレールに座る人々。

ガードレールって、
座る為に造った訳じゃないのに、
人々が座っているのだ。

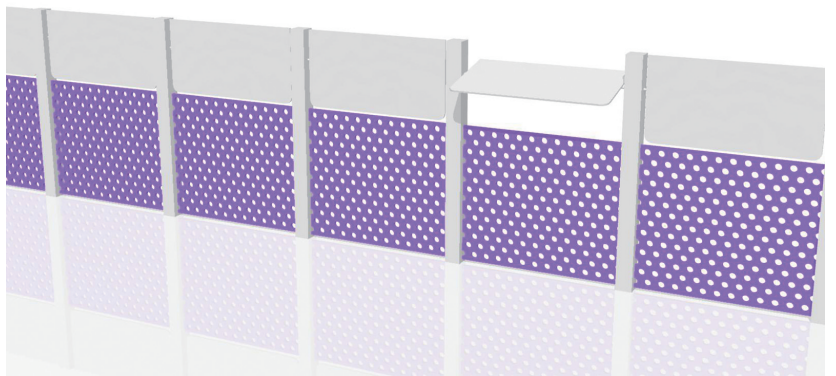
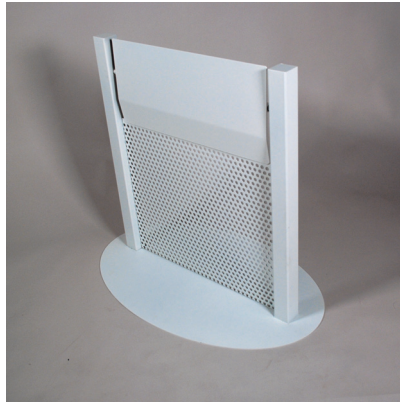
ユーザはデザイナーの意図を無視して、
本能のままに行動する動物である。

一方、この惑星には重力がある。

どこでもあるものなのだ。
普段には感じない、だけど実際に存在する
大したエネルギーである。

この重力を利用して
単純な構造で、人間の単純な行動に
対応すれば良いデザインができる。

痕跡を残さずに、去っていく座るカタチ。



3 座って風呂する日本人

正直、驚いた。
初めて見た日本銭湯の風景。

お互いに背中を洗う日本人達。
猿と同様だ。

しかも座ったまま。
これは凄すぎる。異文化の衝撃！
同じ人間、違い行動。

日本で学んだ建築思想。
ネジなどを使わない、構成自体が構造をする。
構造と形態の極意である。

表面処理は材料の情緒を再現する。
物性的なもの。感性的なもの。

同じ素材、違い表情。これを演出したい。

